

# かしの実

発行  
かしわ荘保護者会  
(柏葉会)

〒945-0112  
新潟県柏崎市大字畔屋194番地1  
TEL 0257(24)4101  
FAX 0257(24)4102  
E-mail kashiwa194@bi.wakwak.com  
URL <http://www.kashikari-fukushi.com>  
救護施設 かしわ荘

祝  
60周年!!



鯨波にあった頃のかしわ荘



現在のかしわ荘

## もくじ

- 保護者会 会長・理事長・園長 ご挨拶 ..... 2・3
- シンボルマーク紹介
- 写真で振りかえるかしわ荘の今と昔 ..... 4・5
- 保護者会活動紹介 ..... 6
- 異動職員・新任職員紹介 ..... 7
- 各種お知らせ・編集後記 ..... 8



### 感謝の気持ちをこれからも！ かしわ荘開所60周年記念かしの実発行によせて

柏葉会会長  
近藤 和夫

今年、救護施設かしわ荘開所から60年にあたり、記念の「かしの実」発行とすることに感謝とお慶び申し上げます。昭和34年7月に柏崎市鯨波に開所し、昭和58年10月に現在の柏崎市畔屋に移転しました。私の兄は昭和57年から施設の利用者として約1年間鯨波の施設にお世話になりました。ただ当時30歳だった私の記憶が曖昧で思い出せないのです。覚えてるのは、高齢の母を伴い面会に鯨波の施設を訪れたことです。記憶では、バスで鯨波まで行き、バス停より細い道を歩き、遠目に山間のなだらかな場所に周辺を緑に囲まれた細長い木造の建物が見えたことです。面会が終わる帰路の途中に、兄の症状悪化がなく普通に生活していたように見えたのに母の表情は暗く顔をゆがめて、「おまえは、弟なのに迷惑ばかりかけてすまん」と言った趣旨の事をぼつんと言いました。私はそのことに答えず、共稼ぎだった私共夫婦の長女2歳の「子守をしてくれてありがとうね」と言いました。すると、母は満面の笑顔で「元氣すぎて、目を離せんわ」と言いました。その時、母の顔に涙のあとが有りました。当時は、知的障害者に対する理解はあまりなく遺伝などに疑問を持つ風潮や考え方が有り、血縁関係に負い目を

感じる時代でした。それから約1年後、救護施設かしわ荘は現住所の畔屋に移転しました。高台に建つかしわ荘に通じる坂道の右手に桜の木々が連なり、春到来の爽やかさを演出しています。坂を上ると、白亜の建物(かしわ荘)が周辺の緑と美しく調和して建ちます。玄関前に立ち正面を望むと広く大地が広がり、その先に霊峰米山の雄大な姿が訪れた人を圧倒します。訪れる度、四季折々の米山の雄大な姿に「くじけるなよ」と勇気をいたたく私の友だちです。施設では、園長先生をはじめ職員の皆様が、愛溢れる介護お世話を私たちの近親者である利用者のために精いっぱい施してくださいました。職員を募集しても応募が少ない現状が有り、不足する人員であつても利用者のために心からの介護とたくさん愛を頂いています。私は、あまりに無力で、ただひたすらに手を合わせ現状緩和を祈るばかりです。救護施設かしわ荘60周年にあたり、柏葉会会長として会員の皆様的心に寄り添い利用者の幸せに少しでも手助けできるよう努めて参ります。「救護施設かしわ荘60周年」保護者を代表して感謝申し上げますとともに今後ともよろしくお願ひ致します。



### 米山を仰いで・創立60周年

理事長  
高橋 敏郎

救護施設「かしわ荘」が昭和34年7月14日に鯨波の地に開設されて以来、創立60周年の節目の年を迎えることとなりました。ご利用者、ご家族、職員はじめ関係者の皆様のご来までのお力添えに、心から感謝を申し上げる次第です。

60年と言えば、人間でいうと還暦にあたります。十干十二支が二回りしたこととなり、今まで長い歴史を歩んできた証でもあります。「己亥」年から始まった干支が、これから二巡目を迎えることになりました。

開設当時は鯨波の高台にあり、日本海が眼下に見えたと聞いています。しかし、冬は寒さが厳しく、道路除雪が日課であつたとも聞いています。昭和58年10月に畔屋の地に移転してから早くも36年の月日が経過したことになります。現在地も高台ですが、柏崎のシンボルである霊峰米山を正面に仰いで、素晴らしい環境にあると思つています。新緑が目にしみる米山、真っ白な雪景色の米山は、かしわ荘の歴史をずっと見守つて来てくれたのかも知れません。

法人も現在8つの老人福祉施設を経営しており、施設利用者定員は757人、職員総数は445人を擁する規模となり、まさに柏崎の福祉事業の主たる担い手としての歴史を刻んできました。昨今の高齢化や人口減少などの社会情勢を受けて、厳しい経営環境ではありますが、職員一同力を合わせて福祉サービスの提供に努めてまいりたいと考えております。

また、今回の60周年を機に、ご利用者も職員も心をつなげて新たな一歩を踏み出したいと考え、みんなに親しまれる法人のシンボルマークを策定いたしました。思いやりや優しさ、笑顔等をコンセプトにしており、「ともに笑い、ともに生きる」というメッセージを込めました。これからも、このシンボルマークとともに、かしわ荘が明日に向かって笑顔で前進していくことを心から願うものです。



### 開所60周年を迎えて

園長  
笠原 秀子

園長に就任し3度目の夏を迎えております。保護者の皆様には、なお一層お健やかにお過ごしのことと存じます。

さて、かしわ荘は今年で開設60年を迎えます。昭和34年7月14日鯨波にて定員70名で開所し、その後増築を重ね昭和44年には定員190名の大施設となりました。その後、昭和58年に移転改築し現在の畔屋へと至っております。開所当時はまだ日本に「ノーマライゼーション」という言葉が北欧から入ってきたばかりで「福祉」そのものが理解されていない時代でした。当然のこと、マニュアル等もなく支援自体が手探り状態で当時の職員の皆様が大変ご苦労されたとお聞きしております。救護施設は、福祉の最後の砦と言われ、今も日本における「地域のセーフティネット」として支援を要する方々のための不可欠な存在です。60年という長い歴史中、かしわ荘はその救護施設として確固たる存在意義を示し続けてきました。今後も変わらずその使命を果たしていくように努力し続けたいと思っております。



最後に鯨波では高台に建てられていたため、施設から眺める景観は素晴

### 社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会 シンボルマーク



### 社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会

ともに笑い、ともに生きる

平成30年9月に社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会のシンボルマークが制定されました。手のひら、ハート、柏の葉のモチーフを円形に集めて木の葉を構成。中心には笑顔があり「ともに笑い、ともに生きる」というメッセージが込められています。この笑顔いっぱい色鮮やかな「虹色の木」は、社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会の目指す姿であり、これからも地域の中に根ざし、信頼される法人でありたいと願う気持ちを表現しています。

# ～写真で振り返る～ かしわ荘の今と昔

## 春



昭和46年  
林道山菜とり

待ちに待った春。  
みんな笑顔で  
山菜とり♪



昭和57年  
水源地で花見

みんなでお花見なが  
らの食事は格別!!



平成19年  
かしわ荘の  
グラウンドで花見

かしわ荘名物の桜が咲  
きました✳  
満開の桜のもとで記念  
撮影。



平成30年  
ひな祭り

親子で写真を  
撮りました♥  
お母さん長生きしてね。



## 夏

昭和56年  
海水浴

冷たくてきもちいい～  
柏崎はやっぱり海だね。



昭和57年  
夏季相撲大会

勝負の世界は  
厳しいぞ。  
ハッケヨイ  
ノコッタ、ノコッタ!



平成24年  
夏祭り

夏と言えば…  
盆踊りと花火、そして  
夜の屋台。  
地域の方もたくさん来  
てくれました。



平成30年  
スイカ割り

ご家族よりいただいた  
スイカでスイカ割り。  
楽しんだ後は、もちろん  
みんなで美味しくいた  
だきました



## 秋



昭和42年  
秋季運動会

力を合わせて大玉送り!  
みんなで楽しめるのが  
運動会の醍醐味。



昭和55年  
模擬店

「まだまだあるよ。おか  
わりどうぞ」  
できたての食事は美味  
しいね。



平成22年  
秋祭り

かしわ荘の体育館が喫  
茶店に早変わり♪  
地域の方達もお呼びし  
て、楽しいひととき。



平成30年  
シーユース雷音で  
食事会

みんなで乾ば～い!!  
美味しい海鮮料理をい  
ただいて大満足



## 冬



昭和44年  
餅つき

さあ、張り切ってお餅  
つき!!  
新しい年も、健康で元  
気に過ごせますように。



昭和55年  
雪上避難訓練

大雪の中の訓練。  
「寒かった～」と声が聞こ  
えてきそうな1枚です。



平成27年  
ミニレク大会

よ～く狙って、エ～イッ  
カゴの中にどんどん玉  
が入って大接戦!  
最後まで諦めずに頑張  
りました。



平成28年  
餅つき大会

せ～の、よいしょ～!  
力を込めて～振り。  
声を掛ける利用者にも  
力が入ります。



# 異動職員・新任職員紹介

今年度、6名の新たな“力”がかしわ荘に加わりました。  
 新任・異動職員をアンケートにて紹介させて頂きたいと思います。

① 普段の生活で「幸せ♥」を感じる時は？

② 宝くじが当たったら、一番に何を買いますか(笑)？

③ 生まれ変わったら、何をしたいですか？

④ かしわ荘で、やってみたい事  
 頑張りたい事は何か？



佐野 聡  
 異動：生活指導員

- ① 休日の一口目のビール
- ② 金塊
- ③ プロサッカー選手を目指してみたい
- ④ 利用者に頼られる存在になる様頑張っていきたいです。



内山 拓也  
 異動：介護員

- ① 2度寝すること
- ② 温泉を巡る旅行
- ③ 悠々自適な生活
- ④ 利用者の方一人一人と信頼関係を築いていけるよう楽しんで仕事をしたいです。



布施真理子  
 異動：看護係長

- ① 海を感じながら創作している時
- ② 常夏の島
- ③ 海底の散策
- ④ 利用者と一緒に物作り



横山千鶴子  
 異動：看護師

- ① 眠っている時
- ② 時間
- ③ 大家族の母
- ④ 検討中



池田 隆  
 新任：用務員

- ① 二人の娘が、私が帰ると「わーい♥おかえりなさい!」と言いながら、ノドをゴロゴロ、体をスリスリする時。
- ② ペット専用の特養があれば寄付する。
- ③ 百万回生まれ変わったら、最後の回で心を取り戻す!(佐野洋子『100万回生きたネコ』より)
- ④ おそうじ、しかないでしょ。



## 保護者会の活動紹介

### 保護者会総会

今年度は4月28日(日)に行われ、22家族31名の方からご出席いただきました。

例年、体育館を会場としてきましたが、音が反響してしまい話が聞き取りにくい部分がありました。その為、今年度は集会室を会場としました。これまでよりも会場は狭くなりましたが、参加者同士の距離が近くなった様に感じられ、とても良い総会になりました。内容につきましては、前年度の事業決算報告、今年度事業計画やかしわ荘の現状報告などをさせていただきました。総会終了後は保護者同士の親睦を深める為、皆で昼食を頂きました。



### 保護者会奉仕活動

今年度1回目の奉仕活動が、5月12日(日)に行われました。利用者の高齢化、重度化に伴い、車椅子や歩行器を利用される方が増え、現在かしわ荘には48台の車椅子と16台の歩行器がありますが、保護者の方々の手際よく作業を進めて下さったおかげで、沢山の車椅子・歩行器があつという間に綺麗になりました。今回の活動は利用者も数名参加されました。又、活動前後に面会をしていただき、保護者と利用者の交流の機会にもなりました。9月8日(日)に2回目の奉仕活動を予定しています。一緒に活動に参加して爽やかな汗を流しませんか?皆様の参加をお待ちしています。



これまでの奉仕活動では、居室のベランダ掃除や施設周りの花植えなども行っていただきました。いつもありがとうございます。

平成30年度も多くの支援を承りました。感謝申し上げ、紹介させていただきます。

寄贈品紹介

(株)ファームくじらなみ 観光いちご園 様 / 海津秀夫 様 / 柏崎緑化美化連絡会 様  
柏崎地区更生保護女性会 様 / 早川弘子 様 / 四葉会 様 / (株)第四銀行 様 / 石坂定吉 様  
(公社) 柏崎法人会 様 / 新道柿栽培組合 様 / コカ・コーラボトラーズジャパン(株)長岡支店 様

寄付金紹介

東京電力労働組合 柏崎刈羽原子力支部 様

法人経営理念

私たちは、地域の福祉事業の主たる担い手として、利用者の尊厳を守り、万全の福祉サービスを提供するとともに健全経営に努めます。

(平成28年3月18日 改定)



かしわ荘基本方針

- I. 利用者の尊厳を守る。
- II. 利用者の安全・安心な生活を守る。
- III. 利用者主体の適切な福祉サービスを提供する。
- IV. 施設の健全経営に努める。
- V. 地域との連携を図り、地域福祉の増進に努める。
- VI. 職員の資質向上に努める。
- VII. 「セーフティネット」としての役割を果たせるように努める。

令和元年度 行事实施状況・今後の予定

行事实施状況

- ▶ 4月 保護者会総会
- ▶ 5月 保護者会奉仕活動  
日帰り温泉旅行(六日町温泉)
- ▶ 6月 日帰り温泉旅行(市内じよんのび温泉)
- ▶ 7月 日帰り温泉旅行(六日町温泉)

今後の予定

- ▶ 8月 夏祭り花火大会/日帰り温泉旅行(市内温泉)
- ▶ 9月 一泊温泉旅行(湯田上温泉)
- ▶ 10月 秋まつり/日帰り温泉旅行(市内温泉)
- ▶ 11月 いきいきレク大会
- ▶ 12月 忘年会
- ▶ 1月 新年会
- ▶ 3月 ミニレクリエーション大会

面会、見学  
お待ちしております。

ボランティア募集

- 日時/随時受付しておりますのでご相談下さい。
- 内容/①利用者の話し相手②外出時の付添い③施設内外の環境整備④趣味や特技を教えて下さる方⑤行事の手伝い等
- ★「かしわ荘」からも地域の方との交流を求めています。お声をかけていただければいつでも伺います。
- 連絡先/救護施設かしわ荘  
TEL(0257)24-4101(柴野まで)

苦情相談について

救護施設かしわ荘では提供する福祉サービスについて、随時苦情相談を受け付けています。ご意見、ご要望、苦情等ありましたら遠慮なく、苦情受付担当者、第三者委員会にご相談ください。誠意を持って話し合いを行い、解決・改善に努めます。

- 苦情解決責任者  
笠原 秀子(かしわ荘 園長)
- 苦情受付担当者  
松井 夏子(かしわ荘 次長)
- 第三者委員  
小野塚正之(法人監事 0257-24-0469)  
宮田知津子(司法書士 0257-24-5522)  
砂塚 一美(保健師 0257-27-3159)

● 苦情相談の申し出  
苦情受付担当者、第三者委員に直接お話し下さい。また、電話、書面、面談でも受け付けます。  
電話0257-24-4101(かしわ荘)  
苦情受付窓口は、かしわ荘中央介護員室に設置しています。苦情の受付に際し、プライバシーについては十分に配慮いたします。

編集後記

「かしの実」の作成にあたり、大勢の方々からご支援いただきましたこと深く感謝申し上げます。  
今年度は創立60周年ということで、施設に保存されている写真等を見たり、長くかしわ荘で過ごされている利用者から話を伺ったりしながら思いを馳せて作成しました。  
編集に携わらせていただき、かしわ荘は多くの利用者や家族、職員の想いが積み重なった歴史ある、魅力的な施設なのだ改めて気づかされました。これまでの歴史に敬意を表し、新しいページを加えて行けるよう、日々精進したいと思います。